

老人保健施設における送迎とは

柴田哲治^[しばた・てつじ]

介護老人保健施設グリーンヒル幸寿園（佐賀県）
介護福祉士



はじめに

私は、2002年4月から「介護老人保健施設グリーンヒル幸寿園」の介護職員として勤務し、2017年に通所リハビリへ異動になりました。一度離職して、まったく違う業種に転職しましたが、再び介護の道を歩もうと決意して、当施設に再就職しました。現在は介護福祉士として通所リハビリに勤務しながら、送迎ドライバーも担当しています。

これからそんな私の通所リハビリにおける送迎に対する思いを伝えたいと思います。

施設の紹介

皆さんは、佐賀県の有田という地名をご存じでしょうか？日本で最初に磁器が焼かれた場所で、「有田焼」が有名な町です。佐賀県西部に位置して、長崎県との県境にあります。有田町の人口は、2023年2月末日時点で1万9,037人、高齢化率は35.6%です。過疎化が進んでいますが、自然に囲まれたのどかな場所でとても住みやすい環境です。

そのような町に、当施設は1998年11月に開設。20年以上の歴史があり、これまでに多くのご利用者や職員の方々と出会うことができ、とても素晴らしいご縁をいただいたと思っております。入所定員は、一般療養棟・認知症療養棟ともに40名の計80名。通所リハビリの定員は40名で、現在平均30名弱のご利用者がいらっしゃいます。ほとんどが有田町内の方ですが、県境に位置することもあり、長崎県の波佐見町のご利用者もいらっしゃいます。

さらに、居宅介護支援事業所と訪問リハビリを併設して、有田町における地域包括ケアの一翼を担っています。

当施設の理念は、「患者さんは常に正しい、頭を下げよ、ベストを尽くせ」であり、職員一人ひとりが

ご利用者の尊厳を尊重していくことをめざしている施設です。

通所リハビリの業務

当施設の通所リハビリについて簡単にご紹介します。まず、有田町内には通所リハビリを実施している事業所が当施設以外にはなく、それだけにリハビリに対するニーズが強く、ご利用者はリハビリ目的で利用されています。2023年2月末時点でのご利用者の内訳は、要介護者は60名、要支援者は17名、平均介護度は1.6となっています。

当施設の通所リハビリにおける主なサービスには、リハビリ・入浴・レクリエーション、そして送迎があります。特にリハビリは、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の指導のもと、各職員の視点で介入しながら、ご利用者一人ひとりの状態に応じた計画を立て実施しています。当施設が特に力を入れているところです。

入浴やレクリエーションについても、ご利用者の状態やその日の体調に合わせて、清潔保持や活動性の向上に努めております。

送迎とは何か

当施設では、5台の送迎車を使用し、送迎しています。エリアごとに分けをしており、近い所は片道約5分、遠い所は片道約25分かかります。

送迎は命にかかわる業務であり、細心の注意を払って実施しています。運転手として、シートベルトの装着義務といった交通ルールの厳守はもちろんのこと、定期的な換気の実施や、道が悪い所や狭い所の道路状況の把握も必須です。手指の消毒といった感染予防の徹底も求められます。そういった点を踏まえて、ご利用者に気持ちよく当施設を利用してもらえるよう配慮しています。